

Luminaユーザーが選ぶ 人気大会ランキング 2025

「2025年、あなたの心を最も揺さぶったレースは？」 Luminaメルマガ会員、そしてWEB・SNSユーザー延べ約3万人のリアルな声を集計した、トライアスリートが選ぶ、トライアスリートのためのランキングが決定！ 総合順位はもちろん、スイム・バイク・ランの部門別から、地元との絆を感じるベストホスピタリティ賞まで。トライアスリートたちの想いが詰まった最新ランキングの結果を、ドドンと発表します。

写真＝小野口健太、攝本明彦、大会事務局提供

2025 Best Race Ranking

※ランキングの数値は総合的なポイント数

順位	大会名	前回順位	ポイント
1位	佐渡国際トライアスロン	1位	284
2位	全日本トライアスロン宮古島	3位 ↑	228
3位	Mt.富士トライアスロン富士河口湖	4位 ↑	208
4位	アイアンマン・ジャパンみなみ北海道	2位 ↓	196
5位	伊勢志摩・里海トライアスロン	5位	192
6位	石垣島トライアスロン	9位 ↑	152
7位	スウエイトビークスミルトライアスロン	15位 ↑	148
8位	おきなわKINTトライアスロン	18位 ↑	132
9位	ワールドトライアスロンシリーズ横浜	8位 ↑	112
10位	八景島トライアスロンフェスティバル	18位 ↑	100
10位	全日本トライアスロン皆生	13位 ↑	100

順位	大会名	前回順位	ポイント
12位	木更津トライアスロン	10位 ↓	96
12位	九十九里トライアスロン	15位 ↑	96
14位	籠山わかしおトライアスロン	6位 ↓	92
15位	千葉シティトライアスロン	7位 ↓	84
16位	トライアスロンIN徳之島	11位 ↓	80
17位	五島長崎国際トライアスロン	15位 ↓	76
18位	いぜん88トライアスロン	12位 ↓	44
19位	河津フワートライアスロン	—	32
19位	LAKE BIWAトライアスロン	14位 ↓	32
19位	南紀白浜トライアスロン	—	32



総合Ranking 1位 & ロング Ranking 1位

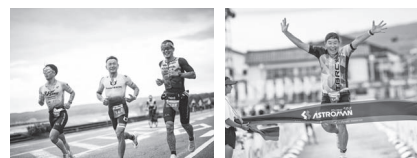
最新のロコミはコチラから



佐渡国際トライアスロン

不動の1位、日本最長のロングの貫禄

日本最長距離への挑戦と島全体がひとつになる究極のホスピタリティが見事に融合している佐渡が1位に。特にAタイプの佐渡1周を実現するバイクコースの景観と達成感、他の追従を許さない圧倒的な価値があると人気を集めている。さらに、島民による献身的なサポートに魅力を感じている人も多い。距離&コースともに国内最高峰の壁としての厳しさと、それを支える島の温かさで8年連続1位という金字塔を打ち立てた。



総合Ranking 2位

最新のロコミはコチラから



全日本トライアスロン宮古島

憧れから、何度も帰りたくなる故郷へ

熱狂的な支持を集める最大の要因は、「東洋一」とも称される圧倒的なロケーションにある。海の透明度やウミガメとの遭遇が、レーススタートから「出て良かった!」と思わせてくれる。また、単なるスポーツイベントを超えた島全体のお祭り感があり、沿道の途切れない応援に背中を押されたという声が多く、島民と参加者が一体となる温かな雰囲気、リピーターを生む強い引力となっている。




Lumina BEST
★ 3 ★
2025

Lumina BEST
★ 51.5 ★
2025

総合Ranking 3位 & 51.5km Ranking 1位

最新のロコミはコチラから



Mt.富士トライアスロン富士河口湖

富士の麓で日本イチ特別な体験を

昨年の高評価からさらに順位を上げ、総合3位・51.5km部門で頂点に輝いた。最大の魅力は、何と言っても「世界遺産・富士山」を間近に望む圧倒的なロケーションだ。また、景色だけでなく、運営のホスピタリティや沿道の温かい応援を高く評価する声が多いのも特徴。レース後の名物「鹿カレー」も人気。回を重ねるごとに運営の質も向上していて、名実ともに日本を代表する大会へと進化を遂げている。


©2025 Mt.FUJI @Yuto KOKUBU



Lumina BEST
★ 4 ★
2025

総合Ranking 4位

最新のロコミはコチラから



アイアンマン・ジャパンみなみ北海道

アイアンマンブランドの底力


2024年に9年ぶりの国内復活を遂げたフルのアイアンマン。昨年から2ランクダウンしたものの海外へ行かずとも「日本で唯一、IRONMANになれる」というブランド力に多くの選手が魅力を感じている。深夜まで続く地元の方々の心温まる応援や、町全体が一体となったホスピタリティも高く評価され、「You are an IRONMAN」の雄叫びが聞けるフィニッシュの感動は格別。



Lumina BEST
★ 5 ★
2025

総合Ranking 5位

最新のロコミはコチラから



伊勢志摩・里海トライアスロン

常に進化し続ける魅力の宝庫


現状に満足せず、新カテゴリーの追加や運営の工夫を重ねる「進化し続ける姿勢」が、多くのリピーターを惹きつけている。特に評価が高かったポイントは、海の透明度で、その水質の良さは国内屈指のレベルを誇る。また、バイク・ランニングコースを通じ、伊勢志摩の豊かな自然を五感で楽しめる点も大きな魅力だ。さらに、地域のおもてなしや私設エイドの思いやりにも心打たれる人も多かった。



Lumina BEST
MIDDLE
★ 2025

ミドルディスタンス Ranking 1位

最新のロコミはコチラから



スワコエイトピークスミドルトライアスロン

ダイナミックなコースと極上のアフターレース

ハッ岳や富士山を望む圧倒的な絶景コースが魅力。バイクパートはその絶景を楽しみつつ、走りごたえ十分なコース設定で、ランは諏訪湖畔のフラットで走りやすいコース設定。普段泳ぐことができない諏訪湖のスイムコースも特別感あり! また、エイドで提供される地元の名産品も人気で、塩羊羹などの補給食が充実している。レース後には温泉や地酒、鰻などのグルメを満喫できる。



全日本トライアスロン宮古島

東洋一のみならず、「宮古ブルー」を味わう至福のスイム

多くのトライアスリートが「ベスト」に挙げる理由は、舞台となる与那覇前浜ビーチの圧倒的な透明度にある。「海が最高に綺麗」「ダイバーさんが見える」という声の通り、底まで透き通った「宮古ブルー」の水中景観は、まるで空を飛んでいるかのような浮遊感を与えてくれる。このレースが憧れの的である理由は、スイムコースにこそある。まさに、泳げることがご褒美になる、唯一無二のコースと言えるだろう。



ココが推し！
一生に一度は泳ぐ価値あり

佐渡国際トライアスロン

絶景と試練が織りなすバイクコースの最高峰

島をほぼ1周する圧倒的なスケール感とドラマチックなコースレイアウトが壮観なバイクコース。特にAタイプで上る「Z坂」から「大野亀」の絶景や、延々と続く美しい海岸線は、多くの選手が「景色が最高」「走りごたえがある」と口を揃えるほど。190kmという国内屈指のタフな距離ながら、向かい風やアップダウンを乗り越えた先にある「島を丸ごと駆け抜けた」という達成感は、佐渡でしか味わえない。



ココが推し！
変化に富んだ島1周コース



ワールドトライアスロンシリーズ横浜

観光地横浜を走れる贅沢感

山下公園や赤レンガ倉庫といった横浜の観光名所を巡る、華やかなロケーションが最大の特徴。普段は多くの観光客で賑わうエリアを、大歓声の中で独占して走る高揚感は格別だ。「応援が近く、絶え間ない」という声の通り、沿道の熱い声援が途切れることなく続き、苦しい終盤の力となって背中を押してくれる。最後は鮮やかなブルーカーペットを駆け抜け、最高の達成感と共にフィニッシュへと飛び込める。



ココが推し！
沿道の歓声でエリート気分

佐渡国際トライアスロン

日本一温かな「アイランドレース」

「島民全員による熱烈な応援」や「至れり尽くせりの交流イベント」「島全体での歓迎ムードが伝わる」という声が溢れていて、ベストホスピタリティに選ばれたもうなずける。レース前後の交流やおもてなし、深夜まで続く途切れない応援など、日本最長のレースを支える側にとっても長丁場の戦いだ。選手とスタッフが共に大会を創り上げるという強い絆が、唯一無二の一体感を生んでいる。



ココが推し！
島全体が味方、究極の安心感

1位

いぜん88
トライアスロン

昨年に続き2年連続1位の座を獲得した。島の地形を生かした距離設定でスイム・バイク・ランの合計が88kmという独自のフォーマットが人気。最大の魅力は「島ぐるみの温かさ」にある。民泊での触れ合いは、単なるトライアスロン遠征では味わえない、伊是名ならではの体験となり、民泊の虜になる人も。

2位

河津フラー
トライアスロン

荒波の河津浜に挑むスリリングなスイムは、チャレンジのしがいあり！ アットホームな運営ながら不便することはなく、レース後は特産のわさび料理や温泉などが疲れた身体を癒やしてくれる。さらに、完走後には河津の特産品に舌鼓。競技の厳しさと伊豆の豊かな恵みを一度に堪能できる大会。

3位

のとじまトライアスロン



2024年元日の震災を乗り越えて開催され、アスリートたちの「能登を支えたい」という純粋な想いと、地元の皆様の不屈の熱意が共鳴して、初のランクイン。イルカが見える美しい景観や、絶品の寿司・米といった能登の恵みは健在。過酷なアップダウンさえも、レースができる喜びに変えてくれる。

海外

今年の海外レースはどこにする？

日本人も参加しやすいレースが上位を独占

1位

ホノルルトライアスロン



ダイヤモンドヘッドの朝日を望む最高のロケーションと、家族全員で楽しめる圧倒的な開放感が人気の秘密。スイムは波の穏やかなアラモアナビーチで行われ、初心者でも安心してハワイの海を満喫できるのが特徴。制限時間がなく、フラットな高速コースを自分のペースで走れる「ゆるさ」も魅力。

2位

アイアンマン・ケアンズ



グレートバリアリーフと熱帯雨林というふたつの世界遺産を一度に楽しめる贅沢なロケーション。特に海岸線を走るバイクコースは「一生に一度は走りた絶景」と絶賛されている。また、ランコースはケアンズ市内の目抜き通りエスプラネードが中心で途切れない大歓声とハイタッチに元気をもらえる。

3位

アイアンマン台湾



日本から最も近いアイアンマンとして人気を博す。舞台となる澎湖島のエキジチックな景観と最高級の海鮮グルメが魅力。「食べ物美味しい」「島民がとにかく親切」といった声が聞かれ、レース後の海鮮パーティーや観光を含めた「旅としての満足度」が非常に高いのが特徴。初めてのアイアンマンとして選ぶ人も多い。

